

2024年
令和6年
6月号

広報 たっこ

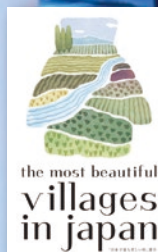
三町合同消防団観閲式

4月29日、三戸町を会場に、令和6年度三八地区消防協会三戸地区消防連絡協議会観閲式が行われました。
詳しくは2ページをご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
三戸地区消防連絡協議会観閲式
入学祝い金を支給しました！
- トピックス…………… 4
イングリッシュデイキャンプ ほか
- お知らせ…………… 7

- 公民館情報…………… 10
第76回三戸郡総合体育大会開催のお知らせ
- 図書館情報…………… 11
「大人のための絵本教室」開催します
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 たっここども園 ほか



三戸地区消防連絡協議会観閲式

4月29日、三戸町を会場に令和6年度三戸地区消防連絡協議会観閲式が行われました。三戸町、田子町、南部町の消防団員らは、観閲者や地域住民に堂々とした力強い分列行進を披露し、地域防災の決意を示しました。

南部町消防団員によるはしご乗り演技、ポンプ操法訓練、軽可搬ポンプ実践競技、中継送水競技が行われました。中継送水競技では田子町消防団第4分団が1位を獲得しました。

田子町消防団の受章者と各競技の結果は次のとおりです。(敬称略)

●表彰

○消防庁長官表彰

○永年勤続功労章

▽分団長 立本義一

○青森県知事表彰

○永年勤続功労章

▽副分団長 日向誠▽副分

団長 尾形憲男▽部長 日

澤利美▽部長 千葉優治▽

団員 遠沢敏章

○日本消防協会会長表彰

○精進章

▽副団長 木崎正夫

○勤続章

▽分団長 赤野義和

▽部長 宮永正幸

○青森県消防協会会長表彰

○功労章

▽分団長 赤野義和

▽部長 宮永正幸

○勤功章

▽分団長 佐野文治

▽分団長 藤村京子



○三八地区消防協会会長表彰

○竿頭綬 第7分団

○頭功章

▽分団長 藤村京子

▽副分団長 松山晴彦

▽副分団長 佐野文子

○精進章

▽班長 古郡晴季▽班長

土川仁▽班長 田中大貴▽

班長 原慶一郎▽班長 清

水田晃▽班長 戸川修一

○三八地区消防協会三戸地

区消防連絡協議会会長表彰

○感謝状 前田子町消防団

▽団長 村木勉

●競技の結果

○軽可搬ポンプ実践競技

第2位 第9分団

○中継送水競技

第1位 第4分団

○玉落とし競技

○小型ポンプの部

▽第1回

第3位 第1分団55・52秒

○自動車ポンプの部

▽第1回

第3位 第5分団26・10秒

▽第2回

第1位 第3分団55・29秒

▽第3回

第2位 第4分団41・66秒

▽第4回

第1位 第2分団27・72秒

▽第5回

第2位 第1分団33・89秒



三戸学園校庭で行われた式典では、功労団員の功労表彰や、消防団纏隊によるまとい振り演技、三戸町、

競技終了後、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部の寺牛憲行消防長が「団員の皆様の精強なる消防団を目指す熱意が存分に感じられ、極めて優秀でありま

した。今後も安全な郷土を目指し、一層精進されますことを期待しております」と講評を述べました。

また、式典後には玉落とし競技が行われ、自動車消防ポンプの部第2回で第3分団が、第4回で第2分団が1位を獲得したほか、多くの分団が3位以内に入賞し、輝かしい成績を収めました。

祝

入学祝い金を支給しました！

田子町では、子育て支援と町への定住人口増加を図るため、平成27年からの継続事業として入学祝い金を支給しています。

●入学祝い金支給対象

令和6年度に小学校、中学校及び養護学校に第1学年で新入学する、町内に住所を有する児童生徒

●令和6年度の入学祝い金支給者名簿

▽小学校 22名（支給額：3万円）

- ◎下田子 遠澤唯央
- ◎七日市 釜淵真嘉、佐竹直穂、澤口絵舞、
村木風羽花
- ◎矢田郎 中村圭那
- ◎野 月 西村健真、立本 愛
- ◎野々上 工藤僚哉
- ◎袖 平 山本華永
- ◎清水頭 遠沢駿弥
- ◎干草場 大下碧一
- ◎西館野 滝沢貴寛、原 健永、才川陽絆
- ◎根 渡 山本旺芽
- ◎柴 倉 仲間真元、倉間 萌
- ◎風 張 日向菖乃
- ◎南風張 日向瑠花
- ◎塚ノ上ミ 大坊春馬
- ◎嘉 沢 中村麻玲

▽中学校・養護学校 33名（支給額：5万円）

- ◎下田子 佐藤凜旺
- ◎向 山 向井愛美
- ◎七日市 山本文太郎、久保舞華
- ◎矢田郎 古郡 丞
- ◎野 月 堰向湘亮、大坊祐久
- ◎野々上 梶本優芽、久保花奏、平山詩乃

- ◎池 振 池田智博、井上 月
- ◎干草場 中平 葵
- ◎西館野 畠山蒼空、村田煌向
- ◎明土平 大森実南
- ◎南風張 小館陽天
- ◎北 側 菊地美伶
- ◎南 側 小館結仁、石亀心美
- ◎中本町 大野怜愛
- ◎下本町 川下瑤平、山田健心
- ◎サンモール 松橋綺羅、土川響羽、橋本 芽
- ◎雀ヶ平 高沢柚輝
- ◎飯 豊 岡山虹衣那、高沢妃希、森崎莉沙
- ◎山 口 梅内奏羽
- ◎夏 坂 日向琴音、久保結音

～ご入学おめでとうございます！～



イングリッシュデイ キャンパス Day in America (※写真1)

4月2日、田子町ガーリックセンターで、「アメリカで過ごす1日」をテーマに、英語でのアメリカの日常を疑似体験するイベント「イングリッシュデイキャンプ」が行われました。これは、田子町にんにく国際交流協会及び町の主催によるもので、英語に対する自信と興味・関心を高め、国際人の育成を図ることなどを目的に開催されました。

この日は町内の中学2年生5名が参加し、町国際交流推進員のミランダさんや、町外国語指導助手のリトルさん、クリスチャンさんが講師を務めました。会話はすべて英語で行われ、オリエンテーションでパスポートを作成した後、アメリカのお金を使った買い物や、アメリカのカフェテリアでランチを自分で注文するなどの体験をしました。また、自分の好きな食べ物や、好きな音楽など5つの話題を

設定し、2分間英語で会話を続けるゲームなども行いました。

今回のイベントに参加した中学生は、「自分の話せる英語の幅が広がった」「これを機会にもっと英語の勉強をしたくなった」などの感想を述べていました。

春の火災予防運動

(※写真2・3)

4月8日から14日までの期間、県下一斉に実施された「令和6年青森県春の火災予防運動」に伴い、4月7日、町内で田子町消防団による防火パレードが行われ、火災予防を呼びかけました。

この日、タプロコアンプラザ駐車場に全分団が集合し、火災のない安全な地域の実現に向けて、消防車両により2班体制で町内全域をパレードしました。

また、4月8日から17日までの期間、夜間の火災予防を呼び掛けるため、各分団が持ち回りで町内各地を警戒巡回しました。

そのほか、4月7日には、

三戸消防署田子分署による消防防災展がマエダストア田子店で開催され、地震車による地震体験、煙を炊いたテントを通過して火災時の視界を体験する煙体験、水消火器を使い放水する初期消火体験、消防車や救急車の展示などが行われ、買い物に訪れた方々が参加していました。

初期消火体験に参加した方は、「今回初めて体験した」「消火器の使い方を知りたかった」などと感想を述べていました。

春は空気が乾燥しているため火災が多い季節です。火の取り扱いに注意して安全な生活を送りましょう。

新入学児の交通事故防止運動に伴う朝の街頭指導 (※写真4)

4月6日から15日までの期間、全国一斉に実施された「令和6年春の全国交通安全運動」に伴い、田子町では4月8日から15日までの8日間、町内6箇所での新入学児の交通事故防止運



(写真2) 防火パレード出発式



(写真1) 修了書を受け取り記念撮影



(写真3) 水消火器で初期消火体験

動に伴う朝の街頭指導が行われました。三戸警察署や三戸地区交通指導隊田子支部、交通安全協会田子支部、町交通安全母の会の方々が、登校する児童・生徒や行き交う運転者へ、交通安全を呼びかけました。

新学期が始まる4月から6月にかけて、交通事故による幼児や児童の死者・重傷者が増加する傾向にあります。子どもや歩行者が交通事故に遭うことのない、安全な道路交通環境づくりを心がけましょう。

田子町6次産業相談員 委嘱状交付式 (※写真5)

4月12日、役場町長室で田子町6次産業相談員の委嘱状交付式が行われ、山本忠志さんに山本町長から委嘱状が手渡されました。

6次産業相談員は、町の農産物等を活用した魅力ある商品づくりのための相談会や商品改善について専門的指導、助言を行います。山本さんは今回で6年目の委嘱となり、青森県6次産

業化アドバイザーや青森県産業技術センター農産加工研究所研究専門員としての経験と知識を活かし、町の6次産業化をサポートします。

委嘱状交付後に行われた山本町長との懇談では、町内の加工品開発の状況について報告するとともに、「加工技術のレベルが上がってきて、田子町になかった加工品が増えてきた」「低コスト・安全性に配慮し、これからの商品作りの参考になるよう支援していきたい」と述べていました。

加工品開発や商品の改善を考えている方は、役場商工振興課6次産業戦略推進グループ(☎23-0153)へご相談ください。

田子小学校交通安全指導教室 (※写真6)

4月16日、田子町教育委員会主催による交通安全指導教室が田子小学校で行われました。これは、同校全校児童を対象に行われ、大型車両の死角や内輪差の危険

性を理解し、少しでも交通事故のリスクを軽減することを目的に実施されました。

今回の教室では三戸警察署と南部バスの協力により実施され、自動車のブレーキが利き始めてから停止するまでの制動距離や、急ブレーキの際に車内での転倒事故を防ぐため、座席に座ることや、つり革、手すりにつかまることを学びました。また、時刻表の見方、バスの乗降の仕方についても学びました。

参加した児童からは、「バスの前後からは飛び出さない」「どこで乗降すればいいかわからない時は運転手さんに聞いてみる」「バスのマナーが分かっていない低学年がいるので、ルールをしっかり教えてあげたい」などと感想を述べていました。

しあわせのまちづくり 結婚祝い金贈呈式 (※写真7)

4月16日、役場公室で「田子町しあわせのまちづくり結婚祝い金贈呈式」が



(写真4) 朝の街頭指導の様子



(写真6) バスの死角について学ぶ児童たち



(写真5) 6次産業相談員の山本さん

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

◆お世話になりました！

地域おこし協力隊の五十嵐です。田子町に移住して5年、今回が最後の寄稿となりました。4月末で地域おこし協力隊を任期満了で退任しますが、今後は田子町に残りロジカウベルの運営などで町に貢献していけたらと思っていますので、引き続きよろしくお願いします。

私はこれで退任となりますが、4月に着任した大村さんは田子町初の農業隊員。田子の1次産業を担う素晴らしい人材になってくれると思います。また、5月から入るもう1名新隊員の吉村さんは、大阪から来る大学を卒業したばかりの新卒です。若いながら非常にアクティブで、田子町に新しい風を吹かせてくれると思います。そして、4年目を迎える木村さんは、田子町にパンと笑いと活力を引き続き与えてくれると思います！皆様、どうぞ今後とも地域おこし協力隊をよろしくお願いいたします！大変お世話になりました！



◆ご報告

こんにちは！地域おこし協力隊の木村治樹です。

私事ではありますが、令和6年度4月をもちまして「商工振興課2次3次G」より「同課6次G」に所属が変更となりました。今まで通り、みろく館での勤務やイベント補助、SNSなどを用いた情報発信の業務を行うだけでなく、田子町の特産品PRのための各所イベントに参加なども行ってまいります。にんにく収穫や町内イベントなど、慌ただしい時期になってきますが、田子町のにんにくパワーを発信し続けていきます。

また5月からは新たに地域おこし協力隊員も1人増えます。5年間に渡り、五十嵐隊員がつないでくれた活動を切らすことなく、3人体制で様々な角度から田子町を盛り上げてまいりますので、改めて皆様よろしくお願いいたします。



◆田子町の美しい自然に感謝！

地域おこし協力隊の大村優太です。田子にんにくの振興と、自身の新規就農を目標に活動しております。青森にUターンしてきて、日々の楽しみと言えば、私の場合は趣味の釣りです！毎月この場をお借りして釣行記をお伝えすることで、少しでも地域活性の一助となればと思います。

第1回目としまして、田子町内の溪流に行ってみました。田子の釣りウマな若者にガイドしてもらい、なんとかヤマメとイワナをキャッチできました！若者ガイドは余裕の尺超えイワナをサクッと釣っておりました。修行が足りないなあ実感しつつ、心地よい川の流れときれいな魚に癒され、とても楽しめました。



たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

行われました。

山本町長は「桜も満開の中、令和6年度最初のカッブルとしてお祝いできることを大変うれしく思っています。生きがいもやりがいもあるような人生にして、末永くお幸せに」と述べ、祝い金を手渡しました。対象となった日向ご夫婦は祝いの金の使い道について「両親と一緒においしいものを食べたり、家庭に役立てていきたい。とにかく健康で仲良く、末永く暮らしていきたい」と話していました。

町民一斉クリーンアップ作戦 (※写真8)

4月21日、田子町美しいまちづくり条例による「環境美化の日」として、町内全域で町民一斉クリーンアップ作戦が行われました。当日は天候も良く、ほうき

今回で事業開始から計72組、今年度1組目の贈呈となります。今回対象となったご夫婦は次のとおりです。
▽日向智昭・瞳夫妻(野月)

やスコップを手にした地域の方々が、ごみ拾いや側溝の泥上げなどの清掃活動に取り組みました。

翌22日には、役場庁舎前でごみ収集出発式が行われました。各地区で集められたごみは、田子町建設業協会(三浦良一会長)のボランティアにより収集され、三戸地区クリーンセンターまで運搬されました。今回のクリーンアップ作戦で集められたごみの総重量は1040kgでした。



(写真7)結婚祝い金を受け取った日向ご夫妻



(写真8)清掃活動の様子(石亀)

令和6年度協働のまちづくり活動支援事業について

それぞれの地域が持つ個性や環境、伝統などを活かした魅力ある地域づくりなど、町民の皆さんが自由な発想で自主的に取り組むまちづくり活動に対して補助金を交付し支援します。

▼募集期間 令和6年4月1日～令和7年2月28日

対象事業	応募資格・要件	補助率	補助上限額
地域の環境整備事業（ハード事業）	地縁による団体またはこれに準ずる団体（自治会等）	補助対象経費の10／10以内	20万円 ※除雪機購入は50万円
地域資源を活用した事業（ソフト事業）	①地縁による団体またはこれに準ずる団体（自治会等）	補助対象経費の10／10以内	5万円
人づくり・仕組みづくり事業（ソフト事業）	②5人以上の町民で組織されたグループや団体		

※詳しくは、町ホームページをご確認ください。
(<https://www.town.takko.lg.jp/index.cfm/13,0,66,html>)



問 役場政策推進課（山内） ☎ 20-7127

農地を貸したい方と、農地を借りたい方を募集中～農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

農地の所有者で、経営規模を縮小する方、または農業をリタイアする方で、作付けしなくなった農地を、農地中間管理機構へ貸してみませんか？

農地中間管理機構が借り受けた農地は、新たに作付けする担い手に対して貸し付けの契約をします。これにより、耕作放棄地の増加が抑えられるとともに、農地の有効活用が図られます。

農地を貸したい意向がある方、農地を借り受ける意向がある方は、それぞれ申込用紙の記入が必要です。申込は、随時受付しております。

詳細については、産業振興課、農業委員会、または支援センターへご相談ください。

問 役場産業振興課（袖村） ☎ 20-7116

問 田子町農業委員会（工藤） ☎ 20-7120

問 公益社団法人あおもり農業支援センター
☎ 017-773-3131



●広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。 役場政策推進課 ☎ 20-7127

「世界禁煙デー」「禁煙週間」

▼期間 5月31日は「世界禁煙デー」、5月31日から6月6日は「禁煙週間」です。

▼令和6年度テーマ たばこの健康影響を知ろう!!
「～たばこと COPD の関係性～」です。

◎ COPD とは

正式名称「慢性閉塞性肺疾患」と言い、たばこの煙など有害物質を習慣的に吸い込むことで、肺に慢性的な炎症が起こる病気です。肺の生活習慣病とも呼ばれています。

◎ 症状は

咳や痰、体を動かした後の息切れ、肺炎にかかりやすくなります。

息切れが重症になると、活動の低下で生活の質が保てなくなり入院が必要になる場合があります。

◎ 治療は

禁煙、呼吸リハビリテーション、食事療法、酸素療法、投薬などです。一度、COPD になると完治することではなく、治療によって症状を軽減し進行を遅らせることが治療となります。

COPD が重症になると、QOL の低下、低栄養の進行、睡眠障害、うつ症状、せん妄（身体に負担がかかった時に生じる意識の混乱）など、要介護状態につながります。

喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指して、禁煙及び受動喫煙防止に努めましょう。

問 役場地域包括支援課健康増進グループ

（せせらぎの郷） ☎ 20-7100



自動車税種別割の納期内納付のお願い

自動車税種別割は7月1日（月）までに、最寄りの金融機関、郵便局またはコンビニエンスストア等で納めましょう。



納税通知書で自動車税種別割を納付した場合は、領収スタンプの押印（領収日付が納期限までのもの）を受けると、納税証明書としてご利用いただけます。

また、納税通知書の表面にある「eL-QR」を読み取ることで、クレジットカードを利用して納付、またはスマートフォンアプリから納付することもできます。

なお、クレジットカード、スマートフォンアプリまたは口座振替を利用して納付した場合、納税証明書は送付されませんが、自動車税種別割の納付確認が電子化されているため、車検用の納税証明書の提示を省略することができます。

問 三八地域県民局県税部納税管理課

☎ 0178-27-5111 内線205～207、356

■ 青森県の傷病鳥獣等の対応について

野生の鳥獣は、多少のケガであれば自然に回復する力を持っています。ケガや病気で弱っていても、なるべくそのままにしておくことが本来の姿ですが、もし、人為的な要因で傷付いたり、ケガや病気の程度が大きい野生の鳥獣を発見したら、鳥獣の種類、発見場所、ケガの状況などを確認したうえで、三八地域県民局林業振興課までご連絡ください。

なお、夜間、土日、祝日は対応しておりませんので、翌日、休み明けに連絡して下さるようお願いいたします。

《ご相談いただく前に必ずご確認ください》

青森県では、農林水産業、生活環境、生態系へ恒常的に被害を与える野生鳥獣の中で、ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、タヌキ、キツネ、ノウサギ、カラス、カルガモ、スズメ、キジバト、ムクドリ、ドバト、カワウについては保護の対象としていません。加えて、アライグマ、ハクビシン等の本来生息していなかった国内外の外来種、雛及び出生直後の幼獣についても保護の対象外となります。



◎死亡した野生鳥獣の取扱いについて

死亡した野生鳥獣（カモシカ以外）は、ゴミ（一般廃棄物）として扱われるため、確認された土地の所有者や発見者がゴミとして処分していただくようお願いいたします。

高病原性鳥インフルエンザが疑われる死亡野鳥（目安は、目視できる範囲で3羽以上）は、直接手で触れず、役場産業振興課まで情報提供をお願いいたします。

問 役場産業振興課（森崎） ☎ 32-3111（代表）

問 三八地域県民局地域農林水産部林業振興課
☎ 0178-27-5111（代表）

■ 今年、新たに就農する方々へ！ 国の支援制度へ申請してみませんか？

国では、新たに就農した方々で、条件を満たした方が支援を受けることができる「新規就農者育成総合対策事業」を実施しています。



①独立・自営就農する方で、条件を満たした場合、1人あたり12.5万円/月（1年につき150万円）を最大3年間受給することができる「経営開始資金」タイプ

②同じく独立・自営就農する方で、比較的大きめの機械・施設等を導入する際の初期投資（補助額最大750万円）を支援する「経営発展支援事業」タイプ
いずれのタイプも詳細の条件があり、交付決定後、条件を満たさなくなった場合には、補助金の全部あるいは一部返還が発生することもあります。

事業の活用をお考えの方、ご自身の後継者世代に就農意欲がある方は、詳細について産業振興課へご相談ください。

問 役場産業振興課（袖村） ☎ 20-7116

■ 高校生修学継続支援給付金の支給申請について

町では、町外の高校へ安心して通学できる環境を確保するとともに、経済的負担の軽減を図るため、「高校生修学継続支援給付金」を給付し高校生を持つ保護者を支援します。

対象の保護者には案内と申請用紙を郵送しています。届いていない方がありましたら担当までお知らせください。（今回、申請用紙の全戸配布は行っておりません。）



なお、対象の高校生、申請保護者が当該年度中に町外へ転出した場合は、給付金の返還を求める場合があります。

▼給付対象 高等学校等に在籍する生徒の保護者等

※令和6年4月1日現在で生徒・申請保護者ともに田子町に住所登録があること。

▼申請者 原則、保護者が申請してください

▼給付金額 高校生1人当たり8万円

▼必要書類

①令和6年4月1日発行以降の在学証明書

②申請者（保護者）のマイナンバーが確認できる書類（マイナンバーカード、通知カード等）

③申請者（保護者）の通帳

▼申請受付期間 8月30日（金）まで

※土日祝日を除く午前8時15分から午後5時まで
受付時間外の申請は事前にご相談ください。

問 田子町教育委員会教育課学務グループ（尾形）

☎ 20-7072

■ 八戸圏域連携中枢都市圏の形成に関する講演会



▼日 時 7月29日（月）午後4時～4時55分

▼場 所 アピル五戸
（青森県三戸郡五戸町字新町34-3）

▼テーマ 未定

※演題は決まり次第、市のホームページにてお知らせします。

▼講 師 海老原 諭氏（総務省官房総括審議官）

▼参加料 無料

▼申込方法 八戸市ホームページの申込みフォームより、7月24日（水）までにお申込みください。

問 八戸市政政策推進課 ☎ 0178-43-9248（直通）

■ 令和6年度「もの忘れ・介護予防相談」のお知らせ

町では、介護予防を目的とした「もの忘れ・介護予防相談」を下記のとおり実施します。

▼対象者 田子町に住所があり、①体力の衰えが気になり体力測定を希望する方 ②もの忘れが多く、認知症が気になる方、その家族 等

▼場 所 せせらぎの郷

▼内 容 簡単な体力測定、タッチパネルによる認知機能チェックほか

▼相談方法 随時受付しますので、ご希望の方は事前に電話予約をお願いいたします。

▼申込み・問い合わせ先

役場地域包括支援課包括ケアグループ（大久保）
（せせらぎの郷） ☎ 20-7100



■ 2024年度 英会話教室参加者募集！

国際交流推進員ミランダ・ジャニッシュさんを講師に英会話教室を開催します。ぜひこの機会に生きた英語を聞いて、英会話を習得しませんか？

お気軽にご参加ください！

▼クラス名

①キッズコース（小1～小3）②ジュニアコース（小4～小6）③ナイトクラス（中高生～一般）

※詳しくは下記までお問い合わせください。

▼申込み・問い合わせ先

田子町ガーリックセンター（市橋、佐藤）
☎ 32-3165



おいしく減塩！ 「塩分ほぼゼロ野菜レシピ」

レタスの韓国風サラダ

材 料

レタス 3枚（100g）
白すりごま 大さじ1
ごま油 小さじ1
刻みのり 適量
塩 2本指でひとつまみ

作り方

①レタスは食べやすい大きさにちぎる。
②すべての材料を混ぜ合わせたらできあがり。

★韓国のり風味を味わえるサラダです。家にあるもので作ることができます。

（地域包括支援課栄養士 本木）



■ 県境不法投棄現場見学会の参加者募集

青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策事業については、岩手県側は昨年3月で原状回復対策が終了しましたが、青森県側ではまだ地下水の浄化対策が継続中です。

これらの状況を皆様にお知らせするため、現場見学会を下記のとおり開催します。

▼開催日 6月4日（火）

▼見学場所 青森県側県境不法投棄現場（岩手県側は遠望）

▼出発時刻・場所

①田子町役場前（午後1時15分）
②上郷公民館前（午後1時45分）

▼解散時刻・場所

①上郷公民館前（午後3時30分）
②田子町役場前（午後3時45分）

▼移動手段 町福祉バス

▼募集人数 30名（申込先着順で定員に達した時点で締め切ります）

※参加は無料ですが事前のお申込みが必要です。

▼応募締切 5月31日（金）

▼申込み・問合せ先

役場産業振興課 林業振興指導員 中澤
☎ 20-7115



■ 第66回水道週間

▼スローガン

「たいせつに みずはみんなの たからもの」

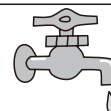
▼期間 6月1日（土）から6月7日（金）まで

水は国民の生活に不可欠なものであり、その水の安定的な供給を目指してこれまで水道の整備が図られてきました。現在ではほぼ全域にわたる普及率を達成し、今や水道は生活基盤として欠かせないものとなっています。その一方で、水道施設の老朽化の急速な進行や耐震化の遅れ、人口減少に伴う料金収入の減少等の課題に直面していることも現実です。こうした水道を取り巻く時代の変化に対応し、将来にわたり持続可能な水道とするためには、水道の基盤の強化に早急に取り組む必要があります。

また、東日本大震災や近年の大規模災害等を教訓にして、災害に強い水道づくりや、全国の水道事業者による被災地への広域応急給水・復旧体制整備など、災害対策、危機管理面の強化も必要です。

こうした状況を踏まえ、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組について協力を得るために「水道週間」を設け、関係者が連携して広報活動等を重点的に実施するものです。

田子町水道事業でも、安全で良質な水を提供するため、施設の整備・老朽管の更新等を実施しています。



■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：山本、中村)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

第76回三戸郡総合体育大会開催のお知らせ

6月2日(日)・8日(土)～9日(日)の3日間、新郷村を主会場に第76回三戸郡総合体育大会が開催されます。田子町は選手団総勢125名が10競技に参加する予定です。今大会は、6町村による町村対抗で全16種目が行われます。

日頃の練習の成果を発揮し、総合の部上位入賞を目指します。町民皆様のご声援よろしくお願いいたします。

競技日程については、次のとおりです。

第76回三戸郡総合体育大会 競技日程

No.	競技種目	開催場所	競技開始時刻
1	陸上競技	南部町ふるさと運動公園 陸上競技場	9日 9:30
2	バスケットボール	五戸町立 五戸小学校体育館	8日 14:00 9日 9:00
3	軟式野球	五戸町 ひばり野公園野球場	8日 13:30 9日 9:00
4	バレーボール	倉石スポーツセンター	8日 14:00 9日 9:00
5	卓球	新郷村立 新郷小学校体育館	9日 9:00
6	ソフトテニス	五戸町ひばり野公園テニス場(雨天時:五戸ドーム)	9日 9:00
7	相撲	小中一貫三戸学園相撲場	9日 13:00
8	弓道	五戸町立公民館体育センター	9日 10:30
9	柔道	三戸町 勤労者体育センター	9日 9:00
10	剣道	南部町立南部中学校	9日 9:30
11	サッカー	五戸町 ひばり野公園サッカー場	8日 14:00 9日 9:00
12	バドミントン	南部B&G海洋センター アリーナ	9日 9:20
13	ボウリング	ゆりの木ボウル(八戸市)	2日 9:00
14	ママさんバレーボール	新郷村立 新郷中学校体育館	9日 9:00
15	ゲートボール	金ヶ沢農村公園(雨天時: 旧新郷中学校体育館)	8日 9:30
16	グラウンド・ゴルフ	間木ノ平グリーンパーク グラウンドゴルフ場	9日 9:30

健康ウォーク2024

例年好評の地場産品も楽しめるウォーキングイベント「健康ウォーク2024」を今年度も開催します。

体力に合わせたコース選択はそのままに、季節を感



じられるルート歩きます。お気軽にご参加ください。
詳細については、全戸配布されるチラシをご覧ください。

▽と き 7月16日(火)

▽ル ー ト 青森市 酸ヶ湯温泉周辺

▽集合場所 中央公民館(午前8時30分までに)

▽受 付 随時参加受付しますが、開催日6日前までにお願いします。

町民の皆さんの

自主的な学習活動を支援します

公民館では、技術の習得や教養を高めたい皆さんのお手伝いをします。同じ趣味・興味を持つ方との活動の場や、仲間作りなどにぜひご活用ください。

①講師を依頼した際の謝金補助

町内在住の講師 上限5千円/回

町外在住の講師 上限1万円/回

②施設使用料の免除

講座に使用する施設(中央公民館、上郷公民館)

の使用料を免除します。

講座の内容については幅広く受け付けます。なお、補助を受けるには事前に申請が必要です。詳しい内容は全戸配布したチラシをご覧ください。中央公民館までお問い合わせください。

みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●いけばな講座

▽と き 6月15日(土) 午後6時30分～8時30分

▽ところ 中央公民館会議室

▽参加費 花材代1,000円前後

▽持ち物 花鋏、水入れ用ボウル、タオル等

※6月7日(金)までの申込みが必要です。

●フラワー教室

▽と き 6月25日(火) 午後7時～9時

▽ところ 上郷公民館

▽参加費 花材代3,000円程度

※6月17日(月)までの申込みが必要です。

●田子神楽養成講座

▽と き 6月13日(木)・28日(金)

午後7時～8時30分

▽ところ 中央公民館ホール・和室

▽対 象 児童・生徒 ▽持ち物 扇

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。

図書館情報

「大人のための絵本教室」開催します

●「大人のための絵本教室」

- ▽日時 6月2日(日)
午前10時～11時30分
- ▽場所 みろく館 和室
- ▽講師 八戸ブックセンター
森花子氏
- ▽内容 新しい絵本、お気に入りの絵本の紹介。紹介された絵本の販売もあります。
- ▽対象 絵本が好きな方、子どもや絵本に接する機会が多い方など。
- ▽定員 15名
- ▽参加料 無料
- ▽申込方法 田子町立図書館へお申し込みください。☎20-7221
- ▽申込締切 5月26日(日)

●蔵書点検休館日のお知らせ

6月12日(水)から6月16日(日)までは蔵書点検(本の棚卸し)のため、図書館は休館日とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い致します。

●令和4年度、5年度図書館統計

令和4年度、当館の100人当たり個人貸出冊数は、県内図書館24館中、第4位でした。令和5年度、個人貸出冊数は減少しましたが、入館者数は増加し、多くの図書館利用がありました。これからも図書館は本で皆さんのご要望に応えます。どうぞ図書館をご利用ください。

▼蔵書冊数 37,038冊

▼入館者数 5,426人

(前年比 +392人)

▼貸出冊数 14,636冊

(前年比 -1,255冊)

▼本の予約・リクエスト 974冊
(前年比 -182冊)

▼人口100人当たり個人貸出冊数

令和4年度県内図書館(上位のみ)

※全国平均	492.0冊
八戸市	343.5
青森市	338.7
十和田市	338.1
※北日本平均	328.6
田子町	322.5
つがる市	319.4
県内平均	265.0

※全国、北日本は令和3年度の値



田子中図書館見学



ブックスタート



田子小図書館見学

図書館おやすみカレンダー

2024							6月
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当: 川村)

☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時

日曜日 午前10時～午後4時

6月の図書館行事

▼6/2(日) 午前10時から
大人のための絵本教室/みろく館

▼6/5(水) 午前10時から
ブックスタート/せせらぎの郷

▼6/12(水)～6/16(日)
蔵書点検休館日

▼6/19(水) 午前10時から
セカンドブック/せせらぎの郷

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日

(館内整理日)

新刊案内

●社会、教育、マナー

- ▽国民の違和感9割正しい/堤未果/304ツ
- ▽すべて話し方次第/一田憲子/361イ
- ▽「学校に行きたくない子」へのかわり方がわかる本/371ミ
- ▽すぐに役立つ大人のマナーブック/385ス

●料理

- ▽強い体を作る! スープとおにぎり/493カ
- ▽平野レミの自炊ごはん/596ヒ

●園芸

- ▽コスバ最強の菜園アイデア/626コ

●歴史・時代小説

- ▽闇医者おゑん秘録帖1/あさのあつこ/913ア
- ▽意趣/惣目付臨検仕る6/上田秀人/913ウ
- ▽お勝手のあん5、6/柴田よしき/913シ
- ▽鯖猫長屋ふしぎ草紙11/田牧大和/913タ
- ▽うつ蟬/風の市兵衛2-33/辻堂魁/913ツ
- ▽怪談飯屋古狸1/輪渡颯介/913ワ
- ▽古道具屋皆塵堂1/輪渡颯介/913ワ

●ホラーミステリー、警察小説

- ▽マガツキ/神永学/913カ
- ▽夏空/東京湾臨海署安積班23/今野敏/913コ

●その他の小説など

- ▽俺たちの箱根駅伝/上下巻/池井戸潤/913イ
- ▽アルプス席の母/早見和真/913ハ
- ▽あいにくあんたのためじゃない/柚木麻子/913ユ
- ▽ようこそ、ヒュナム洞書店へ/ファン・ボルム/929フ

●エッセイなど

- ▽赤と青のガウン/彬子女王/288ミ
- ▽プレゼントでできている/矢部太郎/726ヤ
- ▽風の中に立て/伊集院静/914イ
- ▽継続するコソ/坂口恭平/914サ
- ▽老いてお茶を習う/群ようこ/914ム

■警察署コーナー



●ルールを守って自転車事故を防止しよう

道路交通法では、自転車は「軽車両」に分類され、「車両」の仲間となるため、自動車と同じように守らなければならないルールが定められています。

令和5年4月1日より、自転車利用時の乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されましたが、昨年実施した自転車乗車用ヘルメット着用率調査では、県内の着用率はわずか2・5パーセントで、全国ワースト2位という結果になりました。

▼知っていますか？

自転車乗車中の事故で亡く

■消防署コーナー



●危険物安全週間について

6月20日(日)から28日(土)までの1週間『次世代へつなごう無事故と 青い地球(ホシ)』の標語のもと危険物安全週間が実施されます。事故を未然に防ぐために次のことを守りましょう。

◎ホームタンクや危険物が入った容器が錆びていたり、漏れていないか確認する。また、周囲に燃える物を放置しない。

◎農業用機械の燃料やオイル

なられた方の約6割が、頭部に致命傷を負っています。

事故で負傷した際の被害を軽減するためにも、頭を守る事がとても大切です。

自分に合ったヘルメットを正しく着用し、自分の命を守りましょう。

▼正しいヘルメットのかぶり方

○自分の頭の大きさに合ったサイズを選びましょう

○眉の上のあたりまで深くかぶりましょう

○あごひもをしっかり締めましょう

○あごひもはあごの間に指が1、2本入るくらい

▼三戸警察署田子警察官駐在所 32-3109

類は整理し、空容器を放置しない。

皆様の協力よろしくお願います。

●電話番号のご案内

・消防情報案内

050-5536-5985

消防出動情報を自動音声

でお知らせしています。

・緊急通報ファックス119

(局番なし) 119

ファックスで119番通報

を行つことが出来ます。

▼三戸消防署 田子分署

32-3104

自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用



町の人口

令和6年4月30日現在

世帯数/2056 (-1)
人口/4783 (-3)
男/2307 (-2)
女/2476 (-1)
() 内は前月比です

6月の主な保健・介護予防事業予定表

4 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	19 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～正午
5 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～正午	20 (木) 献血 (せせらぎの郷) 午前9:30～11:30、午後1:00～4:00
7 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	21 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
11 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	25 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30
12 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～正午	26 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～正午
12 (水) たっこオレンジカフェ (みろく館) 午前10:00～11:30	27 (木) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
14 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	28 (金) 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
18 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	

誕生

- 山崎杜天 (祥卓・真子) / 下田子
 - 滝川菜和 (邦浩・杏子) / 下本町
 - 赤野夢菜 (秀行・沙也加) / 上相米
- ※ () 内はご両親、“/” のあとは行政区です

お悔やみ

- 橋本義男 (98歳) 根渡
 - 中村春雄 (94歳) 七日市
 - 鳥井本晴江 (70歳) 下田子
 - 村木 進 (92歳) 七日市
 - 橋本弘子 (88歳) 下田子
 - 藤村千佳子 (59歳) 杉本
- 個人情報保護のため掲載を省略しています
※ () 内は享年、“/” のあとは行政区です



心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

学校の話題 たっこいっども園

●こどもの居場所づくりイベント
ト：GUNTUO（ギユット）

4月から、たっここども園は、「青森県みんなの居場所」を提供するサービスを開始いたしました。

4月20日に開催された「こどもの居場所づくりイベント」

には、小学生35名が参加し、親子で参加された方もおりました。笑顔あふれる楽しい一日を過ごしました。このイベントは、子どもたちが自由に遊び、創造力を発揮できる場を提供するとともに、誰もが参加でき、孤独や孤立といった問題を改善することを目的としています。昼食には特製のスペシャルグラタンが振る舞われ（右写真）、園庭ではさまざまな遊びを楽しみました。

イベントのハイライトの一つは、オリジナルの飛行機作りでした（左写真）。子どもたちは与えられた素材を駆使して、自分だけの個性的な飛行機を作り上げました。彼らの想像力と創造力が爆発し、園庭にはさまざまな色の飛行機が飛び交いました。また、ハーバリウムも大いに盛り



り上がりました。子どもたちは様々な植物や花を使って自分だけのハーバリウムを作り、自然の美しさを楽しみました。参加された保護者の方も一緒になって工夫され、素敵な作品を作り上げておりました。完成したハーバリウムは、部屋や家に飾られ、日々の癒しとなることでしょう。

イベントを通じ、子どもたちが学校や家庭の枠を超えて自由に遊び、交流する機会を提供し続けたいと考えております。新しい友人を作り、新しい経験を積み重ねながら、成長していけることを願っています。また、保護者の方々も、世代間交流、地域の交流などみんなの居場所に参加していただければ幸いです。

今後とも地域の皆様の支援をいただきながら活動を続けてまいります。末永くこの新規事業が続けられるよう尽力してまいります。

（原稿・画像提供 たっここども園）

短歌

タブコピアン文芸

タブコプ短歌会（代表 柳田麗子）

音もなく老ゆるものらし目ざめれば空あおく
輝きてまぶし
仙台におばの墓参りに今年こそと心に強くき
ぞみ時を待つ

知らぬ間に老いてゆくものと誰かが言ふわれ
も八十路の坂を登りぬ
新井田衣

時走り雪も消え去り待つは桜時の流れに追いつけぬ想ひ
待ら待ら若木の桜にっこりと袂庭に笑顔満足感なり

花見旅見渡す限り満開に日本に生れ幸せと思ふ
貝守多恵

そこに居る只それだけで輝いて存在示すあこがれの人物
明け切らぬ東の空に紅刷きて地球の夜明け春の曙

声出すも健康のためとかすれ声加齢の文字と
吹きとばして唄ふ
柳田麗子

TCV(田子町ケーブルテレビジョン) からのお知らせ

◎サポートセンター（月曜～金曜 午前9時～午後5時）

☎0120-557-759（祝日を除く）

加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。

◎故障受付（24時間）☎0120-262-750

テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。





リレー連載
第9回

知っておきたい 田子町の福祉・介護のお役立ち情報



介護保険料が見直されます！

国による、約10年ぶりの標準段階等（所得段階・係数）の見直しが行われ、「(1) 多段階化」、「(2) 低所得者への負担軽減」、「(3) 高所得者への負担強化」の方針により、第1号被保険者間の所得再配分機能強化されたことに伴い、保険料の基準額を見直しました。

令和5年度まで			
基準額	第5段階 7,300円		
段階	1～9段階		
保険料 (年額)	第1段階 26,280円		
	第2段階 43,800円		
	第3段階 61,320円		
乗率等	基準所得金額		
	1.7	第9段階	320万円以上



保険料

多段階化

負担軽減

負担強化

令和6年度から			
基準額	第5段階 7,000円		
段階	1～13段階		
保険料 (年額)	第1段階 23,940円		
	第2段階 40,740円		
	第3段階 57,540円		
乗率等	基準所得金額		
	1.7	第9段階	320万円以上 ～420万円未満
	1.9	第10段階	420万円以上 ～520万円未満
	2.1	第11段階	520万円以上 ～620万円未満
	2.3	第12段階	620万円以上 ～720万円未満
	2.4	第13段階	720万円以上

担当：役場地域包括支援課
(せせらぎの郷) ☎20-7100

「地域おこし協力隊」よろしくお願いします！



5月1日付で「田子町地域おこし協力隊」として着任された吉村悠司さんをご紹介します。吉村さんは、近畿大学を卒業後、田子町地域おこし協力隊着任を機に田子町へ転入されました。地域おこし協力隊の任務として、食を通して関係人口の創出・拡大を目標に活動されます。

●名前：吉村 悠司 23歳 ●出身地：大阪府豊中市
(よしむら ゆうじ) ●所属：商工振興課

◎趣味や特技は？

趣味：カメラ（よく町を歩き撮影しています!）、和太鼓鑑賞、動画作成。特技：たこ焼き、ドリップコーヒー

◎地域おこし協力隊として活動しようと思った理由は？

自分の夢の達成には人脈、経験、チャレンジの3つが必要だと感じ、人と環境に惚れた田子町で最もチャレンジができると感じたためです。

◎田子町で暮らし始めて感じる良いところは？

あいさつをし合う瞬間です。朝、夕方、いつの時もあいさつをしたら元気な声で返してくれます。背景の大自然もあり素敵な光景が毎日訪れるのはうれしいです。

◎将来の目標は？

住民の方々に期待と信頼を与え続け、外には「田子町に来てみたい」と思えるような魅力発信をし続けます！また「大阪の食」と「田子の食」をつなぎ、様々な人が集う空間を作りたいです。

◎ひと言

一昨年に初めて訪れご縁が巡った田子町。少しずつ人、環境に慣れて魅力あふれる田子町に貢献できるように精進します！

地域おこし協力隊 木村治樹隊員が取材！

町内でがんばる 若者を紹介します

田子町出身の中澤光継さん(40)は八戸市の高校を卒業後に航空自衛隊に入隊されました。厳しい基地の管理下の中でも「車をいじるのが元々好きだったので、仕事自体はとても楽しかった」と振り返られました。その後、3年間の宮崎県基地での配属後、実家の家業である畳屋の職人として承継することを、21歳の若さで決断されます。「10代から開業し、店を築き上げてきた父を尊敬している。後継ぎになりたいと自然に思うようになっていた」と語る一方「教えはとても厳しかった、最近になってようやく少しは認めてもらえているような気がする」とも語られました。



そんな中澤さんが田子町に帰ってきて感じる良いところは「暮らしやすさ」だそうで、「子育て世代にはありがたい助成が多い。自然も豊かで災害も少ない」とのことでした。さらに今後については「畳職人として、より高めるために挑戦していきたい。国家資格の一級技能士を取得したのも畳職人として必要だと思ったから。お客様の信頼を得るためにも丁寧な仕事はできないと良い意味でのプレッシャーにもなっています。まだまだ日々勉強中ですけどね」と謙虚かつ力強く、明日を見据えられていました。